



落語の楽しさ、寄席の雰囲気を満たす ～ 桂文治一門による“お笑い健康寄席”。

(広報紙中にある写真を欲しい方にはお返しします)

発行／五城目町

編集／文書広報課 ☎ 0188 (52) 2100(代)

印刷／湖東印刷所

町の生涯教育

文化経済懇話会

近年、心の豊かさが求められるようになりました。町内の皆さんに教養を高める機会にしたい。と、昨年から始まった文化経済懇話会。

講師には毎回、各分野で活躍している著名人が招かれます。大学教授をはじめ医師、ジャーナリスト、作家などその道の専門家が、文化、経済、教育、健康などについて、最新の情報、蓄積された研究結果を基に講演します。

また、このような講演のほかに、町の文化財保護審議会委員の皆さんによるパネルディスカッション、さらには一流の落語家による寄席も行われました。

会費は無料、どなたでも参加できます。時には町外から訪れる人もおり、芸術、文化活動の盛んな町にふさわしい企画と、町外の関係者から注目されています。

川をきれいに



帝釈寺付近

合併30周年記念式典

千五百人が参加し祝う



式典は広域体育館（1階体育室）で行われました。



町功労者諮問委員を代表して安東氏（左）が町功労者の選考経過を報告。

「躍進五城目町合併三十周年記念式典」が、十月二十日午前十時から広域体育館（第一体育室）で、町内の皆さんをはじめ、国、県、近隣町村からの来賓など約千五百人が参加して行われました。

式典は、ママさんコーラス・コールもりやまが歌う「若き郷土の歌」で始まり、これまでの町の歩みや出来事が朗読されました。続いて町長の式辞や町功労者選考経過報告などが行われた後、町功労者など町の発展に功績のあった十八団体と百二十四人が表彰されました。

また、町村合併三十周年を記念して制定された町民憲章と町の花・鳥・木が発表されたほか、記念作文の優秀作二点が朗読されました。

町民憲章と花鳥木を制定

五城目町民憲章

わたくしたちは郷土を愛し五城目町民であることに誇りをもち、歴史と伝統をうけつぎ創造性ゆたかな町をつくる願いをこめてこの憲章を定めます。

- 一、自然と親しみ 美しい町をつくりまします
- 一、たがいに助けあい 思いやりのある町をつくりまします
- 一、教育を進め 文化の香り高い町をつくりまします
- 一、元気で働き 活力に満ちた町をつくりまします
- 一、きまりを守り 明るい町をつくりまします



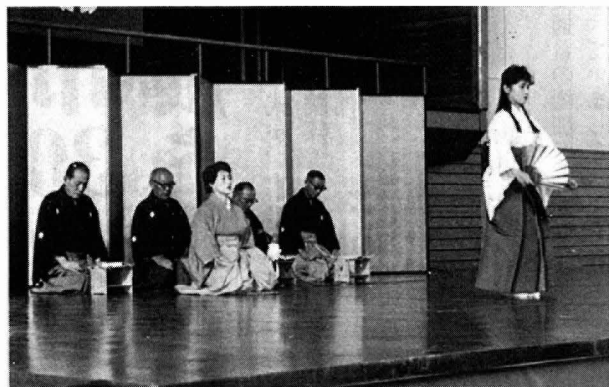
記念行事のひとつとして行われた「お笑い健康寄席」には、桂文治師匠一門が総出演。「かつぼれ」を踊るお弟子さんたち



アナウンスはABS秋田放送の菅原アナウンサーが担当。



国会議員や近隣の町村長も多数お祝いにかけつけてくれました。



アトラクションでは、喜多流の仕舞が演じられました。



町功労者の皆さんと町長、町議会議長が記念撮影。前列左から本間作治氏、伊藤一郎氏、長谷川専治氏、宮川庄太郎氏。後列はご家族の方々。

町村合併三十周年を記念して町内の皆さんから募集した町の花・鳥・木は、「やまゆり」「うぐいす」「すぎ」に決まりました。

町の花への応募総数は十四点で、「やまゆり」と応募されたのは小林真貴子さん（五城目第一中・上山内）。

町の鳥への応募総数は十二点で、「うぐいす」の応募者は猿田ひとみさん（上樋口）と小林真貴子さんの二人でした。

町の木への応募総数は十三

町の花・鳥・木 やまゆり・うぐいす・すぎ

点で、このうち「すぎ」と応募された人は五人おり、館岡田鶴子さん（中高崎）、館岡教伯君（五城目小・中高崎）、阿部三郎さん（上田町）、伊藤司君（杉沢小・恋地）、猿田ひとみさん。

同じく、町内の皆さんから募集した町民憲章は、阿部三郎さん（上田町）の文案が採用されました。応募総数は六点。

また、記念作文の優秀作には、石井俊君（五城目小五年）



会場の一般席には900脚ちかいイスが並べられましたが、町村合併30周年を祝う町民の皆さんでいっぱい。



式典終了後の祝賀会は、雀館公園にテント15張りを設置して開かれました。

と齊藤貴光君（五城目第一中三年）の作品が選ばれました。

町内の皆さんから寄せられた町民憲章の文案と町の花・鳥・木の名称は、制定委員会で審査され、採用文案と名称を決定しました。

制定委員会の委員は次のとおりです。

小熊金之助（町議会議長）
伊藤準一郎（農協組合長）
加賀谷力司（森林組合長）
菊地耕二（商工会長）
小野一二（教員）
中村清次郎（五老連会長）
阿部ミワ（五婦連会長）
石井勝義（五連青会長）
石川美紀子（五若連会長）
伊藤卓治（助役）

五城目バイパス

本町・秋田市30分圏に

地域の発展を担い開通

国道二八五号線「五城目バイパス」の開通式が、十月十一日行われ、佐々木知事、加賀谷町長らのテープカットの後、関係者がパレードをして開通を祝いました。

五城目バイパスは、飯田川町の国道七号線との交差点から本町の役場前までの約五・五キロ。本町、井川、飯田川三町の水田地帯をほぼ直線で貫き、一気に走り抜けることができます。このバイパスの完成により、本町・秋田市区間は三十分の交通圏内となりました。

五城目バイパスの東側を走る従来の路線は、道幅が六メートルと狭いうえにカーブも多く、近年の交通量の増加に困難な状態で、早期改良が求められていました。県では、昭和四十八年に五

城目バイパス建設を計画。翌四十九年に国の補助を受けて建設に着手しました。総事業費約三十二億円。約十一年の歳月をかけて完成したこのバイパスは、幅十八メートル、上下一車線の車道と両側に歩道が設置されています。既に八月十日から供用が開始されており、秋田市・鹿角市間の最短路線として重要視されている国道二八五号線の交通事情は、大きく改善されました。また、このバイパスは郡内の産業、経済の発展、観光開発などに大きく貢献するものと期待されています。



田園地帯を貫く五城目バイパス（撮影：秋田魁新報社）

知事・町長らが テープカット

開通式は、佐々木知事、本町、井川町、飯田川町の町長をはじめ、国、県、三町の工事関係者などが出席して、井川町坂本のバイパスわきで行われました。神事で交通安全を祈願、続いて佐々木知事、三町の町長らがテープカットを行いました。

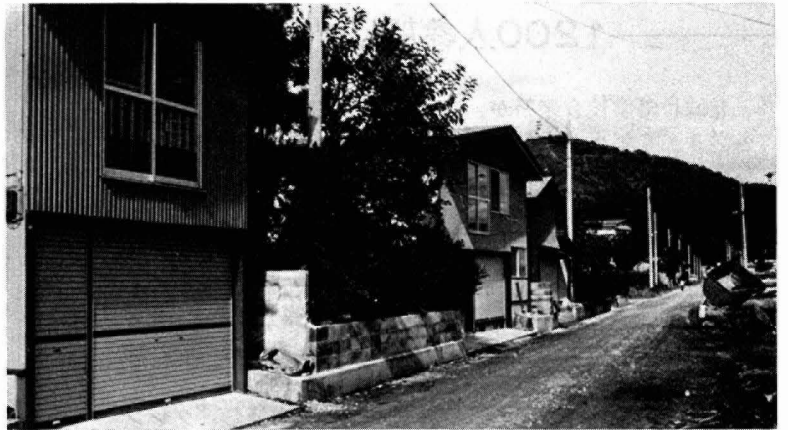
その後、出席者は車に分乗して本町の役場前までパレ



井川町坂本で行われたテープカット

ド。本町部分の沿道には、五城目幼稚園、五城目保育園、大川保育園の園児たちが、日の丸の小旗を振り、色とりどりの風船を放ってこのパレードを歓迎しました。また、役場前や町民センター前では、五城目第一中学校や五城目高校の生徒たちが、ブラスバンドの演奏で出迎えました。続いて会場を町民センターに移して、知事の式辞、秋田土木事務所長の工事経過報告、来賓の祝辞などが行われました。

町内基準地の価格を公表 上町商業地¹平方メートル75,400円



上樋口字向川原（東磯ノ目町）の基準地付近

町内基準地における価格

利用種目	所 在	基準地の価格	
住 宅 地	上樋口字向川原424	1㎡当たり	19,100円
住 宅 地	字七倉105～6外	1㎡当たり	22,100円
住 宅 地	富津内下山内字奈良崎47～11	1㎡当たり	12,800円
商 業 地	字上町60外	1㎡当たり	75,400円
林 地	内川湯ノ又字小川口沢67	10a当たり	60,000円

県では、このほど県内三百六十三地点の標準価格を公表しました。これは、国土利用計画法に基づいて、毎年七月一日現在の基準地の標準価格

を判定し公表しているもの。当町の基準地は五カ所で、住宅地は東磯ノ目町、畑町、広ヶ野、商業地は小池町、林地は内川・湯ノ又地区に設け

新里町公営住宅

入居者を募集

新里町公営住宅の入居者を募集しています。
募集内容は次のとおりです。申込書は役場建設課にあります。
▽募集戸数 一戸
▽受付期間 十一月一日～十五日
▽入居期日 十一月二十五日
▽家賃月額 一万九千円
▽申し込み先 役場建設課
☎(52)2100

なお、国土利用計画法の規定により、一定面積（都市計画区域五〇〇〇平方メートル、都市計画区域以外の区域一〇〇〇〇平方メートル）以上の土地売買等の契約を締結しようとする場合は、あらかじめ町長を経由して知事に利用目的と売買予定価格などを届け出ることになっています。
この場合に、標準価格が売買予定価格の適否の判断基準とされます。また、一般の土地取引引き価格の指標として活用されることを期待しているものです。詳細は、役場企画調整課にお問い合わせください。

表 彰

弓道矢場崎倶楽部
社会体育優良団体
文部大臣から表彰

五城目弓道矢場崎倶楽部（会長・安東誠）が、十月四日、東條会館（東京都）で行われた表彰式典で、社会体育優良団体として文部大臣から表彰されました。

同倶楽部は、昭和三十三年八月に設立、地域における「弓道」の振興に対する地道な努力が評価され、晴れの表彰となったものです。

現在、会員は五十四人。雀館公園内にある弓道場を拠点に、毎週水曜日、弓道教室を開くなど活発な活動を続けています。

加賀谷木材（株）
東北のラジオ体操優良団体に

加賀谷木材株式会社は、ラジオ体操優良団体として、東北郵政局長、NHK仙台放送局長、東北地方ラジオ体操連

“魔の薬”には

手を出すな！

「疲労回復に効く」「強精剤」というのは真つ赤なウソ。麻薬・覚せい剤は、あなたの人生を台無しにします。



麻薬・覚せい剤禍撲滅運動
10月1日～11月30日

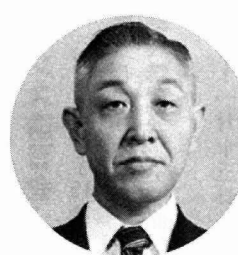


ラジオ体操優良団体の
トロフィーを受ける～八柳部長

盟会長の連名による表彰を受けました。

表彰式は十月十日、雀館運動公園運動広場で、体育の日スポーツ大会の開会式終了後に行われました。

同会社では、十七年前から社員全員で始業前にラジオ体操を行い、社員の健康づくりに努めています。また、五十四年には県内のラジオ体操優良団体として、県ラジオ体操連盟会長などから表彰されています。このようなラジオ体操の積極的な実践と普及発展に貢献したことが認められ、



長谷川 豊

長谷川さん
総務庁長官表彰に

長谷川豊さん（一番町）が、十月十四日、東京農林年金会館で行われた表彰式典で総務庁長官表彰を受けられました。これは、行政相談員として十七年間にわたり、町民の行政に対する苦情や要望を聞き、その解決に努めた功績が高く評価されたもので、その取り扱い件数は年平均百十五件にものぼっています。
また、長谷川さんは、昭和五十八年には東北管区行政監察局長表彰を受けています。

カメラレポート



演奏に合わせ大合唱

1200人参加し学校音楽祭

五城目町学校音楽祭が、10月18日、広域体育館で町内の小学5、6年生と中学生それに五城目高校の吹奏楽部員あわせて約1200人が参加して開かれました。

この音楽祭は、子供たちが一堂に集い一緒に歌ったり演奏したりしようというもので、今回が二回目。杉沢小中学校、五城目小学校、五城目高校、五城目第一中学校の皆さんが次々に演奏し、日ごろの練習成果を披露しました。続いて五城目第一中学校と杉沢中学校の皆さんの演奏にあわせて、全員が「若者たち」などを合唱しました。

また、秋田県警察音楽隊の皆さんが特別出演し、「グレンミラー・メドレー」などを演奏してくれました。



会場が一つになって大合唱



雨の中トレーニングセンター前をスタート

雨の中で健脚競う

五城目・上小阿仁間駅伝

第21回五城目・上小阿仁間駅伝競走大会は、10月13日、上小阿仁村健康増進トレーニングセンター前から本町の広域体育館前までの5区間30.5キロのコースで行われました。

参加チームは40チーム。町内からは4チームが出場し、五城目陸協が健闘して4位に入賞しました。

当日は、断続的に強い雨が降る悪天候となりましたが、選手たちは2組に分かれて元気にスタート、整備が進む国道285号線を舞台に健脚を競い合いました。(大会成績はスポーツコーナーに掲載)

お知らせ

気軽に参加を

成人病について学習

町では、町内の皆さんの健康づくりに役立てていただくため、「健康づくり教室」を開いています。

十一月は寒さに向うため、成人病について学習します。成人病について日本でも権威のある先生を講師に招いて、講演会を行いますので、気軽に参加してください。

▽日時 十一月二十一日(木) 午後一時～四時

▽場所 役場正庁(二階)

▽学習内容

・講演 テーマ「成人病と食事」、講師 児島三郎氏 (秋田県衛生科学研究所 所長)

▽日時 十一月十三日(水) 午後七時～九時

▽場所 町民センター四階、いやさか

▽初級 ブルース、ボックス

▽中級 キューバルンバ

▽参加料 無料

▽講師 五城目町社交ダンス愛好会々員



税を知る週間・11月11日～17日

・血圧健康相談
・みそ汁の試飲

税の無料相談を実施

秋田北税務署

秋田北税務署では、十一月十一日から十七日までの「税を知る週間」の事業として、店頭キャンペーンと税の無料相談を行います。

▽日時 十一月九日(土) 午後一時～四時

▽場所 ジャスコ土崎店

社交ダンス講習会

11月13日～15日

公民館五城目分館では、「社交ダンス講習会」を開催します。

納期内納付にご協力を

十一月は固定資産税(都市計画税)(四期)と国保税(二期)の納期です。納期内納付にご協力をお願いします。

献血ありがとうございます
ごさいます



十月十五日、町内五カ所を巡回して行われた献血に協力して下さいました方たちのお名前は次のとおりです。

(敬称略、数字は献血回数)
猿田 仁13 笹村芳夫21
児玉 泰24 長谷川国夫13
高橋作雄40 児玉英一21
近江ちどり16 北嶋美保子17
北嶋正千代30 勝田重信50
羽沢齊志3 太田敦子7
久保市百合子1 猿田寿子9
佐藤貴子14 朝野暢稔15
煙山誠次3 大石正広19

浅野 満4	山田広美13	佐川 清2	西井信夫13
鳥井浩己12	畑沢竜子6	近野輝雄5	渡辺鉄男50
松橋千代治9	小玉京藏6	石井秀悦3	松原光一22
金子成敏28	石井英夫23	奈良正直8	辻 竜一10
武田秀雄19	小玉孝一50	石井久雄30	加藤容子5
斉藤良吉11	小玉勇治2	原田 司3	伊藤義美5
栗山孝子13	伊藤和義21	菅生 真1	石井千秋3
鈴木善久2	山田哲美19	和喜式13	佐藤信悦38
伊藤準一郎24	加藤 厚2	板橋勇喜5	嶋崎喜代光16
伊藤辰雄7	館岡 敦24	加藤昭男45	千田賢悦6
鳥井孝一8	千葉千代美26	越高孝子7	伊藤彦磨呂18
北嶋美保子1	小玉英己15	伊藤エミ2	土橋玲子2
鳥井 寿6	遠藤春治9	千田素子7	小沼武夫10
佐藤勝次14	館岡与二郎44	栗山美紀1	湊 雄作1
石井博嗣21	伊藤和子4	今年度の町内での献血は、	
館岡歌子6	工藤民子1	今後三回行われる予定です。	
阿部孝昭4	石井ハルエ1	四回目以降の献血実施予定日	
大石祥子5	大石定祐11	は次のとおりです。	
越高直人10	石井広己6	・四回目 十一月十六日	
石井洋一5	佐々木政信10	(五城目高校で)	
佐藤和久5	牧野孝也4	・五回目 十二月二十六日	
越高勝也23	大石信吉7	・六回目 三月十二日	

怖いのは「消したつもり」と「消えたはず」

午後6時にサイレン

十一月三日から九日まで秋の火災予防運動が行われます。運動期間中、消防署員や消防団員が予防査察(火の元検査)や立入検査などを行います。また、消防署では午後六時にサイレンを鳴らして、町内の皆さんに注意をうながしますので、今一度火の元をお確かめください。

い取り扱い方法を指導します。また、学校、工場、旅館など、特殊な建物の立入検査は消防署の予防係が行います。火災予防のため次のことを守ってください。

- ① 身体の不自由な人、お年寄り、幼児は避難しやすい場所に休ませる。
- ② たばこの投げ捨てや寝たば
- ③ 石油ストーブのまわりに干し物など燃えやすい物を置かないように。
- ④ 石油ストーブの給油は必ず火を消してから。
- ⑤ 風呂の空たきや、煙突の破損などに気をつける。
- ⑥ 台所を離れる時にはコンロの火を必ず消す。
- ⑦ 就寝前の火の元点検は必ず行うように。
- ⑧ 万一の火災に備えて、水バケツや消火器を備えつける。

秋の火災予防運動

11月3日 ~ 11月9日



親と子の健康な歯

家庭教育学級の実践から (2)

五城目町公民館

ある学級生は、暑い日三世代家族を訪問し、三人の母親、つまり三世代の子育てをした母親達に話を聞く機会を得て、お土産に持って行ったアイスクリームが溶け出してしまった程、夢中で会話がはずんだことを話してくれた。

この八十二歳の祖母は、九人の子どもを産んだが甘い物をほとんど食べなかったのだ(なかつたので)、歯の痛みはほとんど知らず、九人目で初めて痛みが出てきたと淡々と話してくれたという。もちろん「山菜」だけが「ごちそう」と語っていたが、ここでやはり糖分は、むしろ歯に関係あることが実証されたわけである。背中の子どもが泣けば、「タクアン」の尻尾をしゃぶらせていた。それでいて今の息子(六十代)にはやはりむし歯がないという。嘘のような本当の話であるのにびっくりする。

うと、しどろもどろの姑達へ、今改めて歯のための大切な知識を教えなければならぬという事実も出て、現代の歯づくりはもちろん子育てでは、どこかゆがんでいるのではないかと改めて考えさせられた。

おやつは、甘いものと考えられるが、学級生達が心をこめて作った「手づくりおやつ」は、砂糖の量が今までよりずっと減らしても立派な「おいしいおやつ」として、豪華にしかも母親のビタミン「愛」の入った「おやつ」が出来たことを実感知った時、今までなぜもっと早くからこのようなチャンスがなかったのかと悔まれた。

学級生のこれらの結果から他の学級生、地域の子どもも、若妻会に自分達の推せんする「おやつ」普及を楽しみにしている。しかし、反面、町のスーパーでは親の願いをよそに、子どもの気持ちをとらえるキャラクター商品、口に入ると軽くサクサク、ポキポ

キ、カリカリ、パリパリと現代風なナウイ味が好まれることに今更考えさせられた。手軽な塩分とこのように小気味良い音と共に価格も手ごろのため、自然にこれらのスナック菓子に手が届くのである。このようにして食べた後、親も子も歯みがきをしているかのアンケートは、町で、学校で、学級の仲間の中での継続活動のため五十歳代の人々に反して、小さな子ども達は、良く歯みがきをしていることが如実に出てくる

研究実践をした学級生達は、地域啓発をすると同時に、異口同音に次のように語っている。

「M子さん」羊乳が人乳よりもCaが三倍以上も多く蛋白質も二倍以上多く、脂肪も多く含まれていることを知った。農家のおばあさんが、毎日羊乳を飲んでくれたから、歯は本当に丈夫だったということが今更のように感じた。

町内の話題

銀雨さんの川柳句碑建立

四渡園の入口に

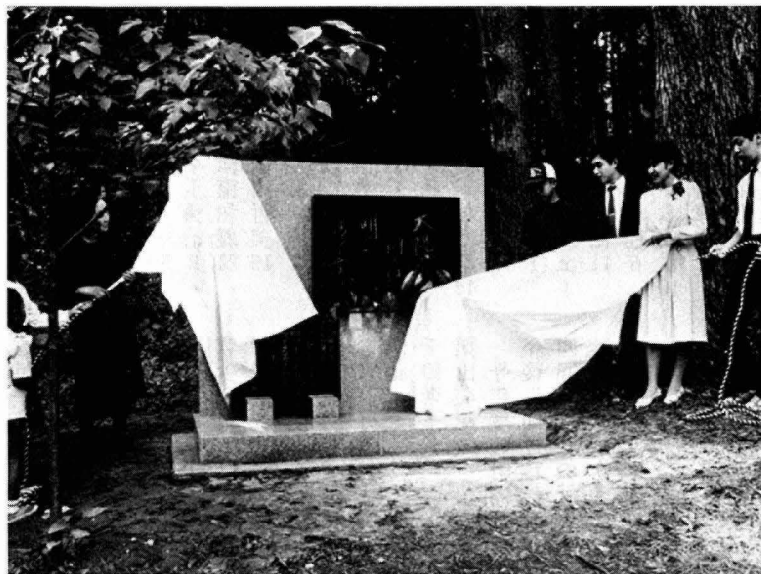
川柳の指導と愛好者の拡大に努めた渡辺銀雨さん（新畑町・本名彦次郎）の川柳句碑が四渡園の入口に建立され、九月十五日、その除幕式が行われました。

当日、本人の銀雨さんは、病氣療養中のため出席できませんでした。ご家族をはじめ関係者約百人が参加しました。

この川柳句碑は、銀雨さんの喜寿、金婚、また「すず虫吟社」創立五十年を記念し、安東誠さん（町芸文協会会長）、渡辺靖彦さん（秋田中央交通社長）らを発起人として、吟社会員らによる川柳句碑建立委員会が中心となり建立したものです。

みかげ石を使った句碑には、銀雨さんの代表作の一つで戦時中に創作した「太陽に 問えば明日が あると言う」という直筆の川柳が彫り込まれています。建立費用は百二十万円で、町内はもとより、県内外の柳界愛好者個人、団体二百六十人から寄付金が寄せられました。

除幕式は、川柳句碑建立委員会、川柳すず虫吟社、婦人会川柳クラブの主催で行われ、



ご家族の手により除幕された川柳句碑

発起人のあいさつ、句碑建立までの経過報告に続き、参加者が見守る中、家族の手により除幕されました。

また、句碑の隣りには銅板ぶきの短冊掲示場も完成。この掲示場には、毎月の「すずむし」例会の句を掲示することになっています。

銀雨さんは、昭和十一年に「すずむし吟社」を創設、以来、五十年間「川柳誌すずむし」を刊行しています。この間、秋田魁新報社の柳壇選者、東北各県の招待選者、県内柳

界の指導者として活躍。また、北日本川柳大会、東北親善川柳大会を主催するなど、地方文化の発展に貢献したことが認められて、五十四年五城目の文化功労者として表彰されています。

（銀雨さんは九月二十五日、お亡くなりになりました。ご冥福をお祈りします）

優良看護人 二人を表彰 老人福祉大会

五城目町老人クラブ連合会（会長・中村清次郎）主催の昭和六十年五城目町老人福祉大会が、九月二十七日、広域体育館で町内の六十歳以上のお年寄り約三百五十人が参加して開かれました。

会長のあいさつ、来賓の祝いのことばの後、前秋田看護学園長の堀江友男氏が「健やかに生きるために」と題し講演したほか、五城目警察署署員による「老人の交通安全について」の講話や、婦人会の皆さんによるアトラクションも行われました。

スズ虫を プレゼント

小玉さんが森山荘へ

浦横町の小玉安長さんは、九月二十一日、老人ホーム「森山荘」へスズ虫三十五匹とケイス五箱を贈り、森山荘の皆さんを喜ばせました。

小玉さんは、昨年も役場と恋地山荘へスズ虫とケイスを贈っています。今年、その卵がかえり元気に成長して、きれいな音色で訪れる人々の耳を楽しませていました。



中学校新人水泳大会

五一中女子が活躍

第一回全県中学校新人水泳競技大会が、十月六日午前九時二十分から五城目町温水プールで、男子十六校、女子十六校が参加し開催されました。本町からは五城目一中が参加、女子の活躍がめだちました。三位以上の入賞者は次のとおりです。

- ④ 五城目陸協（１時間４０分０１秒）
- ⑤ 若美陸協（１時間４４分４６秒）
- ⑥ 秋田ＬＳＤクラブ（１時間４５分１５秒）
- ⑦ 昭和陸協（１時間４５分３８秒）
- ⑧ 八巻板金工業（１時間４５分４２秒）
- ⑨ 天王町陸協（１時間４６分２９秒）
- ⑩ 八幡平石鳥谷（１時間４７分０９秒）
- ⑬ 馬場目走友会（１時間４８分３６秒）
- ⑭ 五城目水走会（１時間５２分３５秒）
- ⑯ 五城目町役場（２時間１２分３９秒）

▽区間ラップ

- ・一区 ８９００Ｍ 高山安弘（秋田大学） ２８分４２秒
- ・二区 ５３００Ｍ 長井淳（秋田大学） １７分２５秒
- ・三区 ４２００Ｍ 高橋喜久雄（鷹巣陸協） １２分１５秒
- ・四区 ４８００Ｍ 佐藤良助（秋田鉄道管理局） １４分５５秒
- ・五区 ７３００Ｍ 宮腰正樹（鷹巣陸協） ２３分１７秒

南秋学童相撲井川大会

五城目小が三位入賞

九月二十一日、井川小学校

【団体戦】

- ▽三位 五城目小（先鋒 渡辺正徳、二陣 石井忍、中堅 佐川康章、副将 加藤毅、大将 大石仁、交代 仁村博仁）

- ・五城目小４－１ 大久保小
- ・五城目小４－１ 飯田川小
- ・五城目小２－１ 三井川小
- ・五城目小５－１ 野石小
- ・五城目小２－３ 弘野小
- ・五城目小２－３ 弘野小
- ・五城目小３－２ 天王小

【個人戦】

- ▽三位 大石 仁（六年の部）
- ▽優勝 佐藤公一（四年以下）

五城目陸協 4位入賞

十月十三日

- ① 秋田大学（１時間３７分３６秒）
- ② 鷹巣陸協（１時間３８分３５秒）
- ③ 秋田鉄道管理局（１時間３９分０５秒）

中国卓球の 神髄に触れる

羅武漢卓球教室

五卓会主催による「羅武漢卓球教室」が、十月五日、六日の二日間、広域体育館を会場に、町内外の小・中・高校生や一般の卓球愛好者など約四百人が参加して開催された。

この教室は、五卓会の結成三十周年記念事業として、地域の卓球レベルアップと底辺拡大のために行なったもの。指導にあたった羅武漢氏は、中国湖北省出身で全中国選手権五位になった実力者。昭和五十六年からは日本に住み、現在、ヤマト卓球（株）の社員として、全国で中国卓球の講習や指導者として活躍しています。

当日は、中国式トレーニング

グから世界一といわれる中国卓球の技術までわかりやすく指導。参加者は、一様に中国卓球の理念のすばらしさに驚嘆し、そのテクニクやスピードを身につけようとがんばっていました。

アイデアが いっぱい

つけものコンクール

紀久栄町内会の恒例行事となっている「つけものコンクール」が、十月二十日、同町内会の集会所で行われました。

このコンクールは今年が五回目で、町内の主婦などからアイデアいっぱいの「つけもの」十八点が出品されました。審査には共栄スーパーの店長など五名があたり、次のみなさんの「つけもの」が入賞しました。

- ▽一位 錦織則子（大根のこはぜ入り酢漬け）
- ▽二位 渡辺恵美子（大根ときのこの酒粕漬け）
- ▽三位 佐藤麗（とっくり大根のレモン酢漬け）
- ▽アイデア賞 佐藤哲恵、金子和子



生徒たちに実技指導する羅武漢氏

パートタイム労働旬間11月1日～10日

パートタイムで働く人は毎年増え続け、今では働く人全体の約一割を占めるようになっています。このうち女性性は七割を占め、また、八五・九％が既婚者となっています。

このように、パートタイム労働は家庭の主婦層を「原動力」としていることがわかります。家事や育児の負担が軽くなり、主婦の労働意欲が高まってきたことの表れでしょう。

労働条件をはっきりさせよう

明るい職場づくりを

トラブルを避けるためにも労働条件の明確化を仕事と家庭生活を両立させたい人にとって、パートタイム労働は都合のよいシステム。勤務時間の長さや勤務する時間帯など、自分の都合に合った仕事を選べるということか

ら、パートタイムで働く人は、ますます多くなっていることでしょう。

しかし、その半面、雇う側が、労働条件などをはっきりと明示しておかなかったために起きるトラブルも少なくありません。

パートタイム労働のトラブルを避けるためには、労働条件をはっきりさせることが第一。そのためには、賃金、労働時間などの労働条件を明らかにした書面（雇入通知書）を雇う側が、パートタイム労働者に交付すること、パートタイム労働者に適用される就業規則を整備することなどが大切です。

十一月一日から十日までは「パートタイム労働旬間」です。パートタイム労働の労働条件を明確化し、明るい職場づくりを心がけていきたいものです。



家庭は非行の「防波堤」

11月は「全国青少年健全育成強調月間」

家庭は、子供の人格形成にとって最も基本的な役割を果たす場です。子供が自主性と存在感を持ち、愛情、公共心、責任感などを培えるよう、親子の触れ合いや対話を心がけてください。

国保杯ゲートボール

館町チーム優勝

第二回国民健康保険杯全町ゲートボール大会が、九月二十五日、雀館運動公園広場で二十八チームが参加して行われました。

成績は次のとおりです。

▽優勝 館町チーム

▽準優勝 上樋口上チーム

▽三位 大川四区チーム

▽敢闘賞 高千チーム

（決勝トーナメント進出チーム）高千、東磯ノ目町、中川

原、浅見内、新町、上樋口上、湯ノ又A、上田町、町村、大川四区、黒土、石崎、館町

町内対抗ゲートボール

浅見内が優勝

9月15日

雀館運動公園運動広場

（参加チーム37）

浅見内町内会

▽優勝

浅見内町内会

▽準優勝 大川四区町内会

▽三位 中川原町内会

▽四位 矢場崎町内会

（決勝トーナメント進出チーム）岩野、矢場崎、下山内、大川四区、落合、田町、富田、町村、新町、中川原、大川三区、蓬内台、上山内、浅見内

県民スポーツ大会

県民スポーツ大会が県内各地で開催されましたが、本町選手の結果は次のとおりです。

【陸上】▽五〇〇〇〇①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

石芳勝▽四〇〇〇①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

丸投げ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

伊藤喜啓▽ワリレー④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

町（バスケットボール）④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

五城目町親と子の健康な歯づくり運動 公 開 発 表 大 会

家庭・地域が一体となった

町ぐるみの研究実践

参加者350人の絶賛を博す

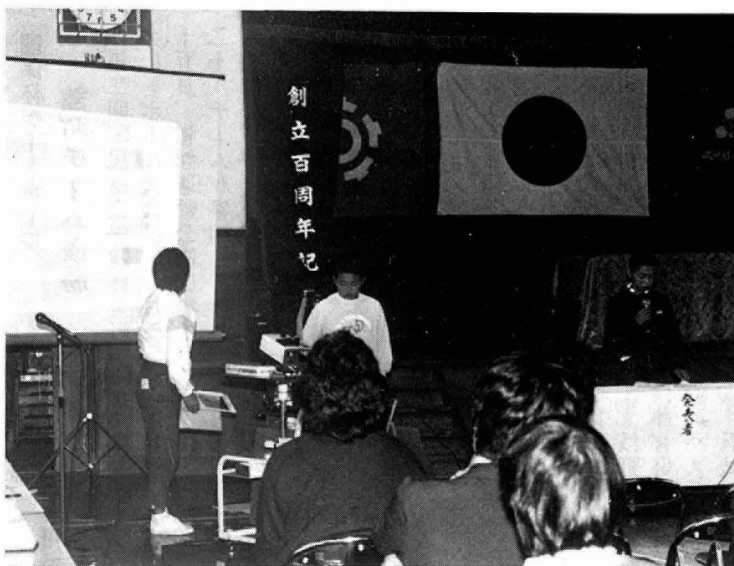
「五城目町親と子の健康な歯づくり運動公開発表大会」は十月一日、馬場目小学校を会場に、町外の方六十人を含めた約三百五十人の参加者を集めて盛大に行われた。健康な歯づくりという生涯にわたる人間としての課題を、幼稚園・保育園（所）・小学校・中学校の一貫指導と、家庭・地域啓発によって町ぐるみで進めていったユニークで力強い研究実践であっただけに、参加者の関心は極めて高く、共感を呼んだ大会であった。



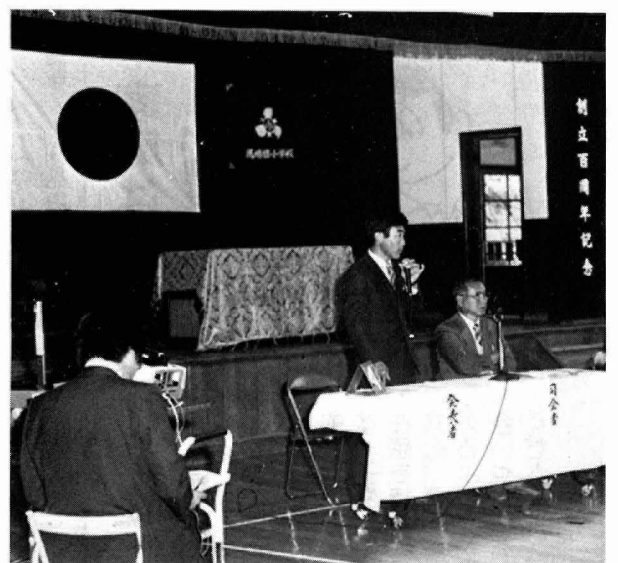
会場となった馬場目小学校



参加者は約三百五十人



3 K運動の一環として自主的に健康な歯づくり運動を進めていったことや、家庭や地域の一員としてこの運動に積極的に参加したことを力強く発表する馬場目小学校児玉寛紀君



地域の健康な歯づくり運動を地域の独自性を尊重しながら進め、創造的な活動へ発展させたことを報告する馬場目小学校PTA会長 石井玄治氏



「おやつのとりの方をくふうしよう。」
(馬場目小学校4年)



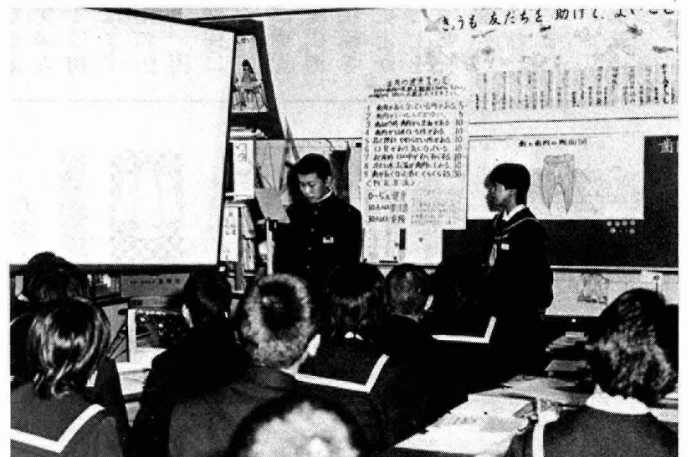
「はのくにをたんけんしよう。」
(五城目幼稚園)



馬場目小学校全児童による
保健集会

「地域普及をめざした手づくり
おやつの実習。」
(家庭教育学級)

「歯ぐきの健康。」
(五城目第一中学校2年)



参加者や関係者の感想

刈和野小学校教頭 小松 岩 男 先生

幼稚園、小・中学校、家庭教育学級の公開授業・演示、それに研究発表など、すべてを通して、この実践が本当に「私たちのもの」というとらえ方ができていることに気が驚いていました。海水浴でもブラッシングという発表がありました。が、当町が、町ぐるみで「きれいな歯」「家族・地域内での対話」「地域共同体」ということで、この運動を推進していることに大いに学び、同じ研究を進めている刈和野地区の参考にしたと思います。

東湖小学校養護教諭 中田 友子 先生

東湖小学校は、むし歯予防の県指定第一号で、現在でも、むし歯治療率97%の実績を残しており、この面での生活化・習慣化がかなり進んだ学校です。しかし、今日この大会に参加してみても、例えば、歯みがきのことで言えば、みがいたこととみがけたことの違いなど、本質的なことを見直すことの大切さを知りました。今日の発表で、行政・PTA・地域に浸透している活動の様子を知り、これを是非学校の中にもち込んで、学校保健委員会やPTAにも伝達し、私たちの学校でもやってみたいと思います。

中央教育事務所指導主事(五城目町教育委員会駐在)
内田 鉄雄 先生

この研究は、従来の学校教育の壁を越えて町全体で推進していくことをねらいとしているだけに、事例研究がなく、いわば五城目町が先導的な役割を果たしたことになります。本町が、むし歯予防を健康な歯づくり運動としてとらえ、学校教育・社会教育から家庭へ、そして地域へと運動の輪を力強く広げていった推進力には、驚きを禁じえません。教育委員会・学校関係・社会教育関係が一体となり、それぞれの機関や地域の独自性を十分に尊重しながら進めていったところに、積極的な特色ある研究実践が生まれ、それが学校や地域に根付いたものと思われれます。それだけに今後の日常化が大いに期待されます。

健康な歯づくりを生涯教育の一環として進めていること、日常的な課題である学校教育と社会教育との連携、学校と家庭・地域との連携が具体的に図られたことは、波及性の極めて高い研究実践として高く評価したいと思っています。最後に、この研究に誠心誠意尽力された関係各位並びに、この運動を真摯な態度で展開し続けている町民の皆様、心から敬意を表します。

